

セシル・B・デミル

Cecil B. DeMille

生年月日 1881/08/12

出身地 アメリカ／マサチューセッツ州アシュフィールド

没年 1959/01/21

関連人物 ウィリアム・C・デミル（兄）

【バイオグラフィ】

■本名はCecil Blount DeMille。兵学校に入学後、演劇学校に転校し、俳優として舞台に立つようになる。1913年にサミュエル・ゴールドウィンらの設立した会社で、ハリウッドで最初の長編映画と言われている“The Square Man”の演出を担当。16年よりパラマウントで監督・プロデューサーとして辣腕をふるった。第一次世界大戦後は風俗ドラマに力を入れ、23年の「十戒」よりスペクタクル路線に注力し超大作を次々と手掛けた。1902年に結婚、娘のキャサリンは一時アンソニー・クインと結婚していた。父親は戯曲を描いたり興行を手掛け、兄のウィリアムも劇作家で映画監督。

【フィルモグラフィ】

| | |
|--------------------|--------|
| 大海賊 (1958) | 製作総指揮 |
| 十戒 (1956) | 監督, 製作 |
| 地上最大のショウ (1952) | 監督, 製作 |
| サンセット大通り (1950) | 出演 |
| サムソンとデリラ (1949) | 監督, 製作 |
| 征服されざる人々 (1947) | 監督, 製作 |
| 軍医ワッセル大佐 (1944) | 監督, 製作 |
| 絶海の嵐 (1942) | 監督, 製作 |
| 北西騎馬警官隊 (1940) | 監督, 製作 |
| 大平原 (1939) | 監督, 製作 |
| 海賊 (1938) | 監督, 製作 |
| 平原児 (1936) | 監督, 製作 |
| 十字軍 (1935) | 監督 |
| クレオパトラ (1934) | 監督 |
| 恐怖の四人 (1934) | 監督 |
| 新世紀 (1933) | 監督 |
| 暴君ネロ (1932) | 監督, 製作 |
| スコオ・マン (1931) | 監督, 製作 |
| マダム・サタン (1930) | 監督 |
| ダイナマイト (1929) | 監督 |
| 破戒 (1929) | 監督 |
| キング・オブ・キングス (1927) | 監督 |
| ヴォルガの船唄 (1926) | 監督 |
| 昨日への道 (1925) | 監督 |
| 金色の寢床 (1925) | 監督, 製作 |

| | |
|-----------------------|------------|
| 勝利者 (1924) | 監督 |
| 霊魂の叫び (1924) | 監督 |
| アダムス・リヴ (1923) | 監督 |
| 十誠 (1923) | 監督 |
| 愚か者の楽園 (1922) | 監督 |
| 土曜日の夜 (1922) | 監督 |
| 屠殺者 (1922) | 監督 |
| 禁断の果実 (1921) | 監督, 製作, 脚本 |
| アナトール (1921) | 監督 |
| 何故妻を換へる? (1920) | 監督 |
| 人間苦 (1920) | 監督 |
| 連理の枝 (1919) | 監督 |
| 夫を変へる勿れ (1919) | 監督 |
| 男性と女性 (1919) | 監督 |
| 醒めよ人妻 (1918) | 監督 |
| 浮世の常 (1918) | 監督 |
| 情熱の国 (1918) | 監督 |
| 囁きの合唱 (1918) | 監督 |
| 小米国人 (1917) | 監督, 製作 |
| 神に見離された女 (1917) | 監督 |
| 孤松の栈道 (1916) | 監督 |
| チャンヌ・ダーク (前後篇) (1916) | 監督 |
| マリア・ローザ (1915) | 監督, 製作 |
| カルメン (1915) | 監督, 製作 |
| チート (1915) | 監督 |
| 農場の薔薇 (1914) | 監督, 製作, 原案 |
| スコウ・マン (1914) | 監督, 製作, 脚本 |